



TITLE:

主要参考文献一覧

AUTHOR(S):

CITATION:

主要参考文献一覧. CIAS discussion paper No.29: <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 304-304

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228547>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

主要参考文献一覧

【関連書籍】

- ・『太平洋横断ケーブル』(KDD シリーズ ; 第 16 号), 国際電信電話株式会社, 1965 年
- ・日本電信電話公社海底線施設事務所編『海底線百年の歩み』電気通信協会, 1971 年
- ・国際ケーブル・シップ株式会社編『K C S 1 0 年の歩み』国際ケーブル・シップ, 1976 年
- ・『国際電信電話株式会社二十五年史』国際電信電話株式会社, 1979 年
- ・志村静一編著『国際海底ケーブル通信』K E C, 1979 年 (英文版, 中文版も刊行)
- ・『KDD 社史』KDDI クリエイティブ, 2001 年
- ・宮川岸雄編著『海底同軸ケーブルを世界に広げた 25 年』アクセスニッポン社, 2002 年
- ・『わが国における海底同軸ケーブル通信技術－国際通信への幕開け』海底線同友会, 2003 年

【雑誌『国際通信の研究』日本電信電話株式会社, 所収論文】

- ・通号 62 「(特集)日本海ケーブル」, 1969 年 10 月
- ・通号 85 (永田秀夫「海底ケーブルの回線容量に対する一考察」), 1975 年 7 月
- ・通号 86 (中井泰一郎・新納康彦・若林博晴「CS-5M・CS-12M 海底ケーブルシステムの中継器監視方式」), 1975 年 10 月
- ・通号 88 (亀田治他「第 2 太平洋横断ケーブルの建設」), 1976 年 4 月
- ・通号 92 (日中間海底ケーブルの建設特集), 1977 年 7 月
- ・通号 95 (沖縄・ルソン・香港間海底ケーブルの建設), 1978 年 1 月
- ・通号 100 (〔国際通信の研究〕発刊第 100 号記念特集), 1979 年 4 月
- ・通号 101 (村上康憲他「日中間海底ケーブルシステム 2 年間の実績」), 1979 年 7 月
- ・通号 109 (〈特集〉日韓間海底ケーブルの建設), 1981 年 7 月
- ・通号 126 (松崎晃他「MARCAS による日韓間海底ケーブルの再埋設工事」), 1985 年 10 月
- ・通号 133 (小林好平他「日中間海底ケーブル復旧工事」), 1987 年 7 月
- ＊諸般の事情から、『沖縄・台湾間海底ケーブル建設記録』(国際電信電話株式会社, 1980 年 10 月)は、『国際通信の研究』の特集号として編纂されず、独立に刊行された。

【論文・雑誌記事】

- ・樽松鏡逸「日本海海底ケーブルについて」『早稲田電気工学会雑誌』43(1), 1968 年 12 月
- ・亀田治「最近の海底ケーブル通信方式」『電気学会雑誌』93(9), 1973 年 9 月
- ・亀田治他「国際通信(特集:伝送帯域の高度利用技術)」『通信学会誌』57(2), 1974 年 2 月
- ・雑誌
- ・本郷馨他「日中海底ケーブルシステム(CS-5M システム)」『日本電気技報』通号 120, 1977 年 4 月
- ・池田忠俊他「日中間海底ケーブル方式」『Fujitsu』29(2), 1978 年 3 月
- ・池田忠俊他「デンマーク・ノルウェー間海底ケーブル方式」『Fujitsu』29(3), 1978 年 5 月
- ・志村静一・亀田治「日中間海底ケーブル」『電子通信学会誌』61(5), 1978 年 5 月

【報告書】

- ・『東南アジア海底ケーブル計画(タイ)調査報告書』海外技術協力事業団, 1966 年
- ・『東南アジア・ケーブル計画(フィリピン)調査報告書』海外技術協力事業団, 1964 年
- ・『マレーシア国東西マレーシア海底ケーブル敷設計画フィージビリティ調査報告書』国際協力事業団, 1977 年 12 月
- ・『タイ・マレーシア・シンガポール海底ケーブル建設計画ケーブル布設ルート調査報告書』国際協力事業団, 1978 年 9 月
- ・亀田治他「CCITT SG 12(1966 年 5 月, ジュネーブ)報告」『国際通信の研究』通号 50, 1966 年 10 月
- ・亀田治「CCITT SGX2 および SGX6(1967 年 10 月, ジュネーブ)報告」『国際通信の研究』通号 56, 1968 年 4 月
- ・亀田治「CCIT SG12 および SG X6 会議報告(1970 年 2 月-3 月, メルボルン)」『国際通信の研究』通号 65, 1970 年 7 月